



グローバル

NO. 99

こうのす国際交流市民の会

発行責任者 鈴木和子 Tel090-6035-3649
お問い合わせ Email hisatoshi-mizuta@brown.plala.or.jp
発行日 2018年1月15日(月)



A Happy New Year

あけまして
おめでとう
な
あけまして
おめでとう
な
あけまして
おめでとう
な



新しい年になって、もう2週間が経過してしまいました。皆様 それぞれに抱負なり決意なりをもって新年をお迎えになったのではないのでしょうか。鈴木会長はじめ役員の皆様の新年の抱負から始めましょう！！

2018年、私の抱負

皆さん よいお年をお迎えですか？ 遠くに聳える富士山を眺めていると自分の年齢を忘れ、心も体もパワーで漲ってきます。皆さん、楽しい企画を是非お寄せください。今年も楽しい交流をしたいと思います。
鈴木和子

皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年から、私は後期の仲間入りとなりましたが皆様のご迷惑にならないよう努力しますので、本年もよろしくお願いたします。
高井 正利

一歩一歩しっかり理解しスペイン語を楽しむ。
佐々木 修治

昨年の抱負は「何事も慎重に行動すること」でしたが、年末に脚立からズッコケ、肋骨 2 本を骨折。じっと我慢の年越しでした。改めて、そして切実に今年も「何事も慎重に行動すること」です。それと、日本語力の激しい低下を実感する日々。楽しくやれる漢字ドリルを毎日やることです。

越田 端子

長く楽しんできた娘との海外旅行は、昨年私の入院でいったん途切れてしまった。が、これで終わりにしたくない。今年は復活したいと思う。

昨年の<熊野古道>詣での時のように、弱った足がっれてリタイアすることがないように、少しずつ鍛え？て行きたい。それと、午前、午後、夜と予定を入れていた今までの生活を見直し、セーブすることを覚え、重いものを持たないなど医者の指示を守り、なにはともあれ、自分の体力の維持向上？をめざすことに努力しよう。<歳>を自覚しよう！ 気力だけでカバーは出来ないぞ！

臼田 千鶴子

新年おめでとうございます！

今年も皆様と一緒にたくさん良い思い出を作れるよう頑張りたいと思い、どうぞ宜しくお願いします

🌸🌸🌸

加賀 紅

今年は生まれてから半世紀が経つ年。もうそんなに経つのかと、不思議な気持ちになりますが、生まれ変わったつもりになって、いろいろと新しいことに挑戦していきたいと思っています。手始めは、、、まだ考え中です。

外山 真澄

一年を心身共に元気で暮らせるように健康管理をする。運動、食事、睡眠をしっかりとり無理のない生活をしたい。お酒は控えめに。何事にも前向きな姿勢で対応したい。

田上 有三

グローバル編集へのご協力、本年もよろしくお祈りします。

水田 久敏

お知らせ

1. 田間宮センター祭り

日時: 3月4日(日)喫茶&バザーで参加

当日及びその準備にお手伝いをお願いします

3月3日…ケーキづくり

3月1日…バザーの品物の値付け

2. お国紹介

今回は南米コロンビアです。お知り合いに声を掛けて一緒にご参加下さい。

日時：平成 30 年 2 月 4 日（日） 14:00～16:00

（開場は 13：30 です）

場所：鴻巣市民活動センター

（『こうのすシネマ』のとなり） 3F 講習室

講師：リリアナ 加藤 さん

会費：一般 ¥200 / 会員 ¥100



ご報告

● 年末パーティー Year End Party Fiesta del año 2017

12月17日（日）に北本野外活動センターにて開催されました。国際色豊かに、多数の参加者で大いに盛り上がりました。Spaceの都合で十分な報告は出来ませんが、写真から楽しい雰囲気を感じて頂ければと思います。ショーを企画・参加頂いた皆様大変ありがとうございました。

それにしても、美人が多いですねえ。



趣味の世界(ウォーキングと音楽について)

田上 有三(スペイン語クラブ)

ウォーキングについて

私は50歳ごろよりウォーキングクラブに入会した。現在の鴻巣市ウォーキングクラブ(KWC・旧鴻巣市歩け歩け協会)である。当時、勤めていた会社での仕事が外勤業務から内勤業務になり運動の必要性を感じていた



からである。人間何が辛いするか解らないものだ。例会でのウォーキングや終わってからの反省会、懇親会もストレス発散の場にもなり楽しくやっている。毎年のウォーキング例会で関東各地にも行き随分と見聞も広まった。KWCは数年前より埼玉県ウォーキング協会(SWA)への加盟団体にもなり各種大会でのサポートも毎年行っている。先日は第40回日本スリーデーマーチに

て長年のサポートに対して感謝状を授与された。当クラブの年間スケジュールは9月の役員会で決定するのでその後の予定が立てやすい。行事は4月の総会ウォークから始まり3月の鎌倉ウォークまでであるが、その間SWAのサポート行事も入る。

KWCの行事で1年を通して例会に参加した人に対し、皆勤賞も授与している。平成28年度は7名で私も授与された。



また、ふれあい鴻巣ウォーキングや夏・秋の市民バスハイクなどもある。1月3日は恒例の大宮氷川神社への初詣ウォークも実施している。毎年、歩ける為には心身ともにメンテナンスをすることが必要。怪我や事故の無いように注意していくこと。継続は力なりだ。また、個人でも団体でも協力が不可欠なので仲良くやっていく事が必要。

音楽について

歌や音楽のある世界は人が生きるのに彩りを与えてくれる。接すると元気を貰い、日々の生活が楽しくなる。今では私にとって歌や音楽を歌ったり、聞いたりすることは生活の一部になっている。12月に入りクリスマスが近づくと町にもクリスマスソングが流れてきて華やいだ気持ちに包まれる。喫茶店などにはたいがい音楽が流れているのでゆったりとした気分させられる。忙しい日々の中での一服の清涼剤だ。

歌謡曲は歌手と作詞家、作曲家とのコンビによってヒット曲も生まれる。好きな作詞家は西条八十、阿久悠、星野哲郎、なかにし礼など。作曲家は船村徹、遠藤実、吉田正、服部良一など。阿久悠ほどの作詞家も5000曲作って4%の200曲が世に知られた歌で作詞で成功するのも容易ではない。西条八十に至っては15000曲も作っている。

人生、新しい事にチャレンジする事によって日々の生活に変化が生まれ、より活動的な気分になる。1年に一つくらいは新しい事にチャレンジできるようにしたいものだ。私も若い頃はカラオケを中心に歌っていたが、3年ほど前から知人に誘われて鴻巣グリークラブに入会し、月3回の練習に参加し楽しくやっている。やってみると結構おもしろいから継続している。11月の鴻響楽や12月23日の定期演奏会にも出場している。定期演奏会も今回3回目の出場だが、沢山のお客さんが来てくれてうれしかった。自分の事よりも来てくれたお客さんに喜んでもらえるのがいちばん良い。



地球一周の船旅(ピースボート)

渡邊 敏子

2015年8月21日～12月6日まで船で地球一周の旅に出発しました。船の名前はオ-シャン・ドリーム号です。8月21日に横浜港を出航し23寄港地21ヶ国を訪れる旅でした。ピースボートの船旅は普通の旅行とは違い船の中で色々な事が出来ます。ジャーナリスト、エンターチナー、作家、大学教授など各分野の専門家がクルーズの一区間乗船して訪問する国々の文化や社会問題などを語ってくれる講座がほとんど毎日ありました。又、船の中ではヨガ、太極拳、ダンス、水彩画、短歌、ちりめん細工、折り紙など自分のやりたい事が無料で教えてもらえました。時には港から港まで12日間海の上で過ごすこともありましたがイベントも沢山あり私は英会話のクラスにも参加していましたので全然退屈することなどありませんでした。



この様に船旅は移動中の船の中で楽しく過ごす様々な方法がありこれが他の飛行機で行く短期間の旅とは異なるのです。

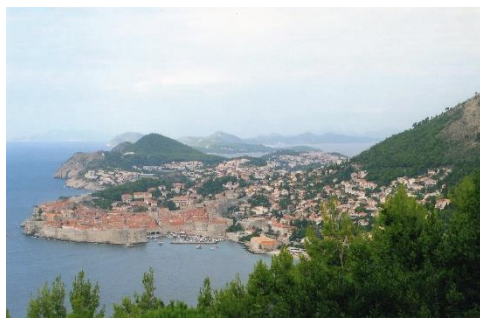
船は23寄港地21ヶ国を回ったのですが、私にとってどの国もそれぞれ魅力がありました。インドのムンバイではYMCAの若い人達との交流があり、彼等が街を案内してくれました。



アラブ首長国連邦のドバイでは、世界一高いビルの展望台にのぼり街を眺めました。建造物はすごいものが多いのですが、緑が少なく人工的で好きにはなれませんでした。でも砂漠を四駆で走り抜けたのはとても楽しかったです。

ド-ハは、国をあげて歓迎してくれ王様や各国大使も出席して歓迎式典を催してくれました。仮設のテントが会場でしたが体育館ほどもある広い所に豪華なシャンデリアが下がり、カタールの産物などを並べたブースが沢山あり、ビュッフェ式のご馳走がずらりと並んだ景観は圧巻でした。ド-ハをたつてすぐにアラビア半島のオマーンとイエメンの沖を船が進んで紅海に入るまでの間、海賊が出没することと、私達の船と大きなタンカーと三、四隻で船団を組み、自衛隊の船が2日間、前後を護衛してくれ、とても頼もしかったです。

紅海を通り抜け、スエズ運河を通して、エ-ゲ海のサントリーニ島に行きました。ギリシャのサントリーニ島は前から行ってみたい所でしたがやはりとても美しい島でした。エ-ゲ海の綺麗なブルーと建物の白壁が絶妙な風景を作っていました。海が浅いので大きな船は港に入れません。沖合に停船して私達はテンド-ボ-トに乗り換えて上陸しました。船はサントリーニ島からトルコのクシャダスに向かったのですが、私は船を降りドイツのロマンチック街道のツアーに参加しました。そしてヴェネチ-アで再び船と合流しました。ヴェネチ-アも歴史を感じさせる街でした。ゴンドラに乗って水の上から街を眺めたのも印象深く、いい思い出になりました。



クロアチアのドブロブニクは城壁に囲まれた古い街で度々外国に攻め込まれた歴史があります。その為、街を守る

のに必要だったのが城壁です。旧市街は建物も道路も石造りで昔のままの佇まいでした。城壁に上り一周しました。ここからながめる旧市街とアドリア海はとてもきれいでした。

この後、地中海を移動し、シチリア島、マルセイユ、バルセロナ、そしてジブラルタルに寄港しました。

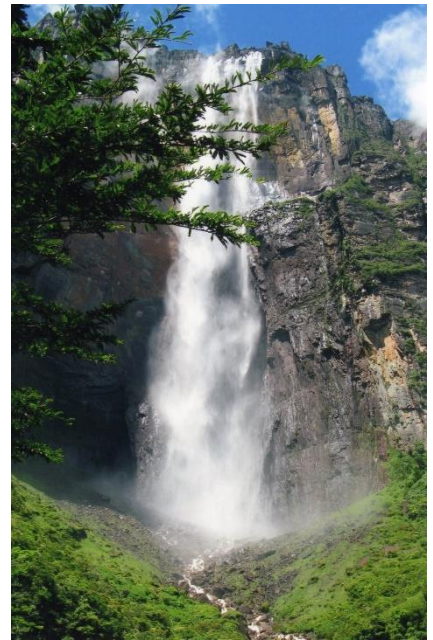
ジブラルタルではボートでイルカを見るツアーに参加しました。沢山のイルカがボートの周りを前になり後になりして泳ぎ、彼等は人間を相手に楽しんでいる様子にみえました。そしてジブラルタル海峡を通過して大西洋に出、ポルトガルのサン・ミゲル島に寄りメキシコにいきました。

メキシコと次の国ベリーズでは3ヶ所のマヤの遺跡を訪ねました。マヤの人達は天文学に精通していて天文台もありました。ベリーズの遺跡は密林の中にあり高さ40mのピラミッド型の遺跡に登ることができました。

船はパナマ運河を通過して再び太平洋に出て、ペルーの港カヤオにいきました。私はパナマで再び船を降りて地球最後の秘境と



言われているベネズエラのギアナ高地に行きました。パナマからコロンビアのボゴタへ、ボゴタからベネズエラのカラカスに飛び1泊し、翌日カラカスからプエルトオルダス、そしてプエルトオルダスからギアナ高地のあるカナイマ国立公園へと4回飛行機を乗り継いで2日がかりで着いたのです。途中私はプエルトオルダスの空港で体調不良から、気を失って倒れてしまいました。でも翌日はボートで川を3時間半かかって遡りジャングルトレッキングに参加しました。2時間以上熱帯のジャングルを歩き(というより山



登りに近かった) 世界最大の落差の滝エンジェル・フォールを正面から眺めることができました。帰りに突然ガイドがしばらく絶対に動

くなく皆に言いました。私がスネークと聞いたらいエスと答えが返ってきました。彼がずっと手に持っていた

プラスチックのケースの中は薬だと言いました。私には全然見えませんが毒蛇がいた様でした。これも今となってはとても面白い経験でした。

最後にいったタヒチのボラボラ島の海の水の美しさは言葉では言い表せない位綺麗でした。シュノーケリングではエイにも触ることができました。

この旅で様々な人々と会い話し色々な事を感じ考えそして教えてもらった旅でした。



語学クラスの紹介



★日本語クラブ

授業：金曜日（第5週目は休み）
午後：7時～9時
講師：ボランティアの皆さん
場所：中央公民館
鴻巣駅から徒歩7分（鴻巣中学校前）
会費：無料
ボランティア先生募集
一緒に楽しみましょう！
連絡先：鈴木和子 ☎09060353649
臼田千鶴子 ☎08066381318

★初歩のスペイン語クラブ

会費 月 2400円
場所 田間宮生涯学習センター
講師 リリアーナさん
連絡先 佐々木修治 090-2466-8857

★こども日本語教室「りぼん」

授業：土曜日（第5週目は休み）
午後 1時30分～3時30分
講師：ボランティアの皆さん
場所：市民活動センター
（鴻巣駅前 アスリエビル 3F 中央図書館の上です。）
会費：無料
皆さんの周りで、日本語に困っている方はいませんか？ぜひこのクラスを紹介してください。
☆このクラスは子ども中心ですが、大人も学んでいます。子どもは学校の予習、復習、ドリル等を。大人は「日常生活に役立つ日本語」等を学んでいます。
連絡先：鈴木和子090-6035-3649

★スペイン語クラブ

授業：原則として
第1, 3土曜日午後2時～3:45
講師：リリアーナさん（コロンビア出身）
場所：中央公民館
会費：1回 500円
連絡先：田上有三（代表）08013175579
学習日 1月 13日、20日
☆世の中、これから益々グローバル化が進んでいきます。
英語以外の外国語も必要になってきています。
スペイン語をみんなで仲良く勉強して、これからの人生に役立てましょう。
みなさんの参加をお待ちしています。
初歩のスペイン語クラブとの両方に参加する熱心な方もいますよ（^o^）

★編集後記

越田 端子 記

北海道や北日本から雪だよりが聴かれる。
昨年、北陸片山津温泉の雪博士「中谷宇吉郎記念館」を訪れた。

館員の丁寧な説明や、一緒に雪づくりの実験などして、雪の結晶の美しさを実感し、とても充実したひとときだった。

感激して、帰って来てから、博士の著書「雪」を読み始めたが、読み終わらず年を越してしまった。

雪の多い地方では始末に大変な労力を使ったり、時には厄介なものだが、「雪は天から送られた手紙である」との博士の名言。

雪降る景色はロマンチックで、とても素敵だ。
雪博士を偲びつつ、雪を楽しめたらと思う。